

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 53

啓示録において (2)

金の燭台の間を歩く人の子としてのキリスト

聖書：啓 1:9-2:1

- I. わたしたちは、金の燭台の間を歩く人の子としてのキリストのビジョンを見るために、主の勝利を得る使者、すなわち霊の中で召会の立場におり、イエスにある患難と王国と忍耐とに共にあずかっている者たちでなければなりません——啓1:9-13, 20:
- A. 初期の召会生活の実行は、一つの都市に一つの召会、すなわちただ一つの召会を伴う一つの都市を持つ実行でした。どんな都市にも二つ以上の召会はありませんでした——使徒 8:1, 13:1, 啓 1:11。
- B. わたしたちが一の真の立場、すなわち神が選ばれた場所で集会することには四つの特徴があります——参照、申 12:5:
1. 第一に、神の民は常に一であるべきです。彼らの間には分裂があるべきではありません——詩第 133 篇、ヨハネ 17:11, 21-23, I コリント 1:10, エペソ 4:3。
 2. 第二に、神の民が集まるべき唯一の御名は、主イエス・キリストの御名です。その御名の実際はその霊です。他のどんな名によって明示されることも、名前をつけること、分裂することです。これは霊的な姦淫です——マタイ 18:20, I コリント 1:12-13, 12:3 後半。
 3. 第三に、新約において神の住まい、神の住居は、特にわたしたちの霊の中にあります。すなわち、わたしたちのミングリングされた霊、神聖な霊によって再生され、内住されているわたしたちの人の霊の中にあります。わたしたちは神を礼拝する集会において、霊を活用し、霊の中であらゆることを行なわなければなりません——ヨハネ 3:6 後半, ローマ 8:16, II テモテ 4:22, エペソ 2:22, ヨハネ 4:24, 啓 1:10, I コリント 14:15。
 4. 第四に、わたしたちは神を礼拝するとき、肉、自己、天然の命を拒絶して、キリストをもって、ただキリストだけをもって神を礼拝することによって、祭壇 (申 12:5-6, 27) によって表徴されているキリストの十字架を真に適用しなければなりません (マタイ 16:24, ガラテヤ 2:20)。
- C. わたしたちはイエスにある患難に共にあずかっている者たちです:
1. 「イエスにある」とは、わたしたちがイエスの内住の霊によって、すなわち苦難のための十分な力を持つ人の霊によって、ナザレ人イエスに従うときに苦難を受け、迫害されることを意味します——使徒 16:6-7。
 2. 今日わたしたちが苦難を受けるとき、主イエスもわたしたちの中で、またわたしたちと共に苦難を受けます——ヘブル 13:13。
 3. わたしたちは多くの患難を経て王国へと入ります——使徒 14:22。
 4. わたしたちは彼の復活の力によって彼の苦難にあずかり、彼の死に同形化される

ことにおいて十字架につけられた命を生きることができます —— ピリピ 3:10。
コロサイ 1:24。 雅 2:8-9, 14。

5. わたしたちは死に至るまでも魂の命を愛すべきではなく、兄弟たちのために自分の命を捨てるべきです —— 啓 12:11。 I ヨハネ 3:16。

D. わたしたちはイエスにある王国に共にあずかっている者たちです：

1. 王国は召会生活です。忠信な信者たちは召会生活の中に生きて命において成長し、また命において造り変えられます —— マタイ 16:18-19。 ローマ 14:17。 I コリント 3:7。 II コリント 3:18。

2. わたしたちは王国の生活を実行するために、純粋な心で主を呼び求める人たちと共に、義、信仰、愛、平和を追い求める必要があります —— II テモテ 2:22。

3. わたしたちは王国の生活を実行するために、罪を犯している兄弟たちを顧みて、彼らを回復する必要があります —— マタイ 18:15-22。

E. わたしたちはイエスにある患難に共にあずかっている者たちです：

1. わたしたちはサタンの消耗させる策略に抵抗しなければなりません —— ダニエル 7:25。

2. わたしたちはキリストの中に住むとき、彼の忍耐についての言を守り、苦難と反対を耐え忍ぶための忍耐を持ちます —— 啓 3:10。

3. わたしたちは、わたしたちが享受し、経験したキリストの忍耐をもって忍耐することができます —— II テサロニケ 3:5。

II. 人の子としてのキリストは大祭司であり、「足まで垂れた衣を着て、胸に金の帯を締めておられ」（啓1:13）、彼の人性において諸召会をはぐくみ、彼の神性において諸召会を養います：

A. 人の子は彼の人性の中にあり、金の帯は彼の神性を表徴し、胸は愛のしるしです：

1. キリストが腰に帯を締めていたのは、神聖な働きのために強められ（出 28:4。 ダニエル 10:5）、諸召会を生み出すためでしたが、今や彼は胸に帯を締めており、彼がご自身の愛によって生み出した諸召会を顧みています。

2. 金の帯は、神聖な活力としてのキリストの神性を表徴します。また胸は、この金の活力が彼の愛によって、またそれをもって行使され、動機づけられて、諸召会を養うことを表徴します。

B. キリストは彼の人性において、人の子として諸召会を顧み、はぐくみます —— 啓 1:13 前半：

1. 彼は燭台のともし火を整えて、それを適切にします。すなわち、わたしたちをはぐくんで、わたしたちが幸いになり、喜び、心地良くなるようにします —— 出 30:7。 参照、詩 42:5, 11：

a. 主の臨在は、優しく温かい雰囲気を与えて、わたしたちの存在をはぐくみ、わたしたちに安息、慰め、いやし、清め、励ましを与えます。

b. わたしたちは召会の中で主の臨在のはぐくむ雰囲気を享受して、養う命の供給を受けることができます —— エペソ 5:29。 参照、I テモテ 4:6。 エペソ 4:11。

2. 彼は燭台のともし火の灯芯を切り取ります。すなわち、わたしたちが輝くことを妨げるすべての消極的なものを切り取ります —— 出 25:38：

- a. 灯芯の焦げた部分、焦げて黒くなった部分は、神の定められた御旨にしたがっておらず切り取られる必要のあるものを指します。例えば、わたしたちの肉、天然の人、自己、旧創造などです。
 - b. 彼は諸召会の間すべての違い（間違っただ行ない、短所、失敗、欠点）を切り取ります。それは諸召会が、本質、現れ、表現において同じになるためです——参照、Ⅰコリント 1:10. Ⅱコリント 12:18. ペリピ 2:2.
- C. キリストは彼の神性において、彼の神聖な愛（彼の胸の金の帯によって表徴される）をもって諸召会を顧み、養います——啓 1:13 後半：
- 1. 彼は、すべてを含むキリストとしてのご自身をもって、彼の満ち満ちた務めの三つの時期においてわたしたちを養います。それは、わたしたちが神聖な命において成長し、円熟して、彼の勝利者となって、彼の永遠のエコノミーを成し遂げるためです。
 - 2. 歩くキリストとして、彼は各召会の状態を知っておられます。また語る霊として、彼は燭台を整え、新鮮な油で、すなわちその霊の供給で満たしていただきます——2:1, 7.
 - 3. 彼の動きにあずかり、彼の顧みを享受するために、わたしたちは諸召会の中にいなければなりません。
- Ⅲ. 主が天的で古代のものであることは、白い羊毛のように白く、雪のように白い頭と髪によって描写されています——1:14前半. ダニエル7:9. ヨブ15:10. 参照、雅歌5:11.
- Ⅳ. 主の七つの目は、火の炎のようであり、照らし注入することによって、見つめ、観察し、探り、裁きます——啓 1:14後半. 5:6. ダニエル10:6：
- A. キリストの目は、地上における神の動きと働きのためです。なぜなら、七は神の動きにおける完成のための数字であるからです。
 - B. 主の目が火の炎のようであることは、おもに彼の裁きのためです——7:9-10. 啓 2:18. 19:11-12.
- V. 主の足は、炉で精錬された輝く青銅のようです。これは、彼の完全で輝く歩みが、彼に神聖な裁きを執行する資格を与えることを表徴します——1:15前半. エゼキエル1:7. ダニエル10:6.
- Ⅵ. 主の声は、大水の響きのようです（啓1:15後半. 参照14:2）。大水の響きは、ごう音、大能の神の声の響きであり（エゼキエル1:24. 43:2）、それは彼の語りかけが厳粛で、荘厳であることを表徴しています（参照、啓10:3）。
- Ⅶ. キリストは、諸召会の輝く使者たちを持つ方です——1:16前, 20：
- A. 使者たちは、諸召会の霊的な者たち、イエスの証しの責任を担う者たちです。
 - B. 使者たちは、星のように天的性質の者であり、天的地位にいます。彼らは主の民に対する主からの新鮮なメッセージを持つ者たちです——2:1 前半.
 - C. 導く者たちは彼の右の手にいるので、後ずさりする必要はありません。キリストは真に彼の証しのために責任を取られます。
- Ⅷ. キリストの口からは、鋭いもろ刃の剣が出ています。鋭いもろ刃の剣は、彼の識別し、裁き、ほふる言葉であり、消極的な人や物事を対処します——1:16中. ヘブル4:12. エペソ6:17.

- IX. キリストの御顔は、太陽が力を帯びて輝くように輝いています（ダニエル10:6）。この輝きは、王国をもたらすための裁く照らしです（啓1:16後、10:1、マタイ17:2、参照、マラキ4:2、士5:31、マタイ13:43）。
- X. キリストは最初の者、また最後の者であり、彼が決してご自身の働きを未完成のままにされないことをわたしたちに保証します。また彼は生きている者であり、キリストのからだの表現としての諸召会が、生き生きとし、新鮮で、強くあるためです——啓1:17-18前半。
- XI. キリストは、死とハデス〔陰府〕のかぎを持っています——18節後半：
- A. 死は集める者であり、ハデス〔陰府〕は看守ですが、キリストは十字架で死を無効にし、復活においてハデス〔陰府〕に勝利を得ました——Ⅱテモテ1:10、使徒2:24。
- B. わたしたちが霊を活用して、自己を否み、十字架を負い、魂の命を失うことによって、主にわたしたちの間で動き行動するための立場、機会、道を与える限り、死とハデス〔陰府〕は主の支配の下にあるでしょう——マタイ16:18、21-26。

© 2012 *Living Stream Ministry*